

人口急減社会におけるまちづくり ～地域包括支援センターと市民連携～

日時：2015年2月7日（土） 12：55～16：50

場所：放送大学 群馬学習センター

無料

人口の高齢化はますます進行しています。高齢者の介護問題は福祉の中心的課題です。と同時に高齢者の経済的困窮も深刻化していて対応が必要だといわれています。また、地域経済の低迷や後継者不足はシャッター通りなどのまちの衰退をもたらしており社会問題となっています。一方、地域包括支援センターは地域の高齢者の生活を支援する要といわれていて、窓口には多様な相談が日々持ち込まれています。地域包括支援センターを基点にしたまちづくりは可能でしょうか。それを議論することがこのシンポジウムの目的です。市民はどう行動すべきか。行動する市民の学びの拠点である放送大学の新たな役割も含め地域包括支援センターと新しいまちづくりについて議論したいと思います。

多数のご参加をお待ちしています。

放送大学学生だけでなく、知人友人をぜひお誘いあわせの上ご参集ください！

12：30～受付開始

12:55 開会

（第一部）

13：00～13：55 基調講演 前橋市の中心市街地の空洞化を考える

法政大学デザイン工学部建築学科教授 渡辺真理氏

プロフィール



前橋市に生まれる。前橋高校卒業、京都大学工学部建築学科卒業、同大学院修士課程修了、ハーバード大学デザイン学部大学院修了、2012年、茨城県桜川市多目的集合施設「真壁伝承館」で日本建築学会賞（作品賞）受賞（新谷真人、木下庸子と共同）、専門は都市のデザインなど、渡辺・下吹越 編著『小さなコミュニティー 住む・集まる・つながること』彰国社、2012年他多数

(第二部)

14:00～16:50

シンポジウム

高齢者の生活問題の広がり と 市民

ー 地域包括支援センターとまちづくりー

シンポジスト

1. 前橋市の高齢者世帯の実情ー貧困化する高齢者世帯

前橋市社会福祉課 太田均氏

2. 地域包括支援センターから見える高齢者の生活問題

前橋市地域包括支援センター（西部） 副センター長 山田圭子氏

3. 養護老人ホームの現場から 前橋老人ホーム 田辺裕氏

4. 認知症の人と家族にとって住みやすいまちづくり

認知症の人と家族の会 代表 田部井康夫氏

5. 市民はどうかかわるのか

認定 NPO 法人じゃんけんぽん代表 井上謙一氏

コメンテーター 法政大学 渡辺真理氏

コーディネーター 放送大学教授 山田 知子

16:50 閉会

アクセス



<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/gunma/index.html>

来場者向けの駐車場はございません。

お申込み及びお問い合わせ等について

当日参加でも大丈夫ですが、配布資料印刷の関係で事前に申し込んでいただくと大変助かります。申込みはメールまたはFAXをお願いします。申込みの際は差支えない範囲で、①氏名②年齢③連絡先（メール、電話など）、④所属（放送大学の学生はコースやプログラム名等）⑤その他 をご記入ください。

申込みメールアドレス：

housoudaifukushisympo2015@mbr.nifty.com

又は、FAX

043-298-4154（放送大学山田知子研究室）

放送大学地域貢献プロジェクト委員会

山田知子（放送大学）

田辺裕（前橋老人ホーム）

清水重昭（群馬県介護研修センター）

原田欣宏（高崎健康福祉大学・栃木県社会福祉士会）

（このシンポジウムは2014年度放送大学学長裁量経費によって開催されるものです。）